

奈良県指定文化財調査票

調査日	2020 年	10 月	14 日	記入者	鶴田吉範
調査者名	石井	垣内	久門	鶴田	

文化財名	伴堂(ともんど)のおかげ踊り絵馬				
種類	<input type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input type="checkbox"/> 天然記念物	<input checked="" type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ()
指定年月日	1987年(昭和62)3月10日				
所在地	磯城郡三宅町伴堂				
所有者 管理者	杵築神社(伴堂杵築神社)				
員数	3面				
時代区分	2面:江戸時代、1831年(天保2年)、1面:江戸から明治移行期、1868年(慶応4年・明治元年)				
樹木の場合	(樹木名)	—		(樹齢)	—
案内板の状況	神社境内を入ったすぐ右側に三宅町教委設置の絵馬の説明板あり。傷み、汚れなし。				
公開					
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> 良い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い
	補足(拝殿中での保管で、風雨は防げる状態にある。)				
当面の課題	拝殿中での保管であり、速やかに対応すべき課題は無い。				
今後の課題	奉納絵馬全般の課題として、絵具の剥落など、補修の問題、温度、湿気など保管環境の問題が先に発生する事が考えられる。天保2年の2面は既に絵具の剥落は進んでいる。				
その他 (由緒など)	県指定を受けたおかげ踊りを描いた3面は、境内で多数の踊り子が輪になって踊っている様子が描かれており、民俗学上貴重な資料となっている。慶応4年奉納の1面は、復元図が伴堂おかげ会館に展示されている。(三宅町観光案内より)				
コメント	所有者の伴堂杵築神社は、同じくおかげ踊り絵馬のある屏風杵築神社から太子道を南へ500メートルほど下った所にあり、旧村社で祭神は須佐男命。県指定のおかげ踊り絵馬は3面あり、真ん中の一面は保存状態は良いが、左右の2面は絵具の剥落が進み状態は悪い。当日は、屏風杵築神社に続き、三宅町ボランティアガイドの方に案内をお願いした。				

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2020 年	10 月	14 日	記入者	鶴田吉範
調査者名	石井	垣内	久門	鶴田	

文化財名	伴堂(ともんど)のおかげ踊り絵馬
------	------------------

県指定絵馬3面(拝殿内)	おかげ踊り絵馬(真ん中、慶応4年・明治元年)
--------------	------------------------



おかげ踊り絵馬(向かって左、天保2年)	おかげ踊り絵馬(向かって右、天保2年)
---------------------	---------------------



絵馬案内板(三宅町教育委員会)	絵馬がある拝殿
-----------------	---------

